

平成23年8月26日  
薬務感染症対策課  
感染症グループ 川瀬、海野  
087-832-3302（直通）  
（内線3255）

## 9月15日（木）から、2種類の子宮頸がん 予防ワクチンが接種事業の対象となります。

子宮頸がん予防ワクチンについては、ワクチン供給不足が解消され、7月20日からすべての接種対象者への初回接種が再開されております。

このたび、厚生労働省から、これまで接種事業の対象としていた「サーバリックス」に加え、8月26日に発売された子宮頸がん予防ワクチン「ガーダシル」について、9月15日（木）から助成事業の対象とする旨の通知がありました。

本県におきましても、9月15日（木）から助成対象とすることとしますのでお知らせします。

「ガーダシル」と「サーバリックス」はいずれも子宮頸がんの予防効果があります。医療機関で相談し、接種できるほうを接種してください。

また、接種途中から別のワクチンに切り替えることに対する有効性・安全性のデータはありませんので、必ず同じ種類のワクチンを3回接種してください。

「サーバリックス」は、0，1，6月の接種間隔ですが、今回対象となる「ガーダシル」は、0，2，6月の間隔で接種します。

どちらのワクチンも3回接種しないと予防効果がなく、3回接種するのに6か月かかりますので、接種を希望される方は、必ず9月末までに1回目の接種を受けてください。

なお、高校2年生相当の年齢の方は、9月末までに初回接種を開始した方のみ、助成対象となりますので、ご注意ください。